



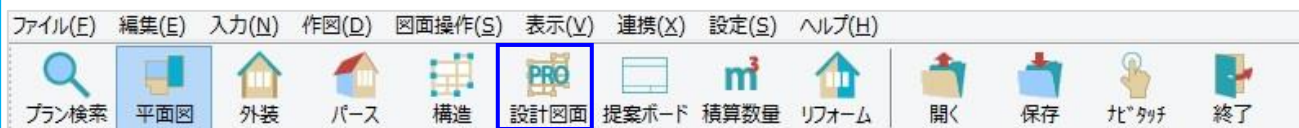
トレーニングマニュアル

Vol.1

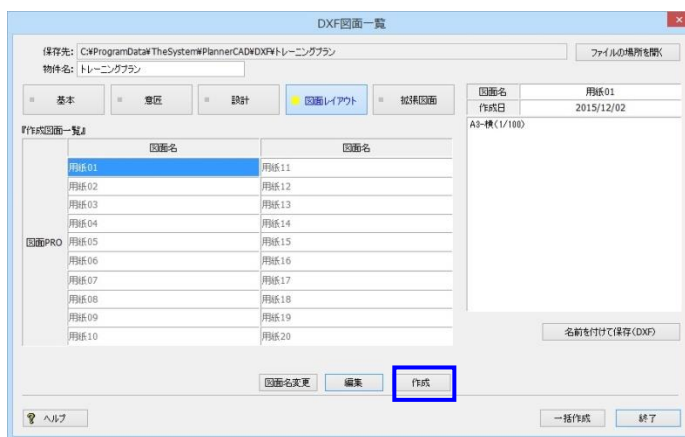


このトレーニングマニュアルでは、図面レイアウトから印刷機能までの流れを解説しています。
拡張2D-CAD機能の図面編集機能については、個別マニュアルを参照下さい。

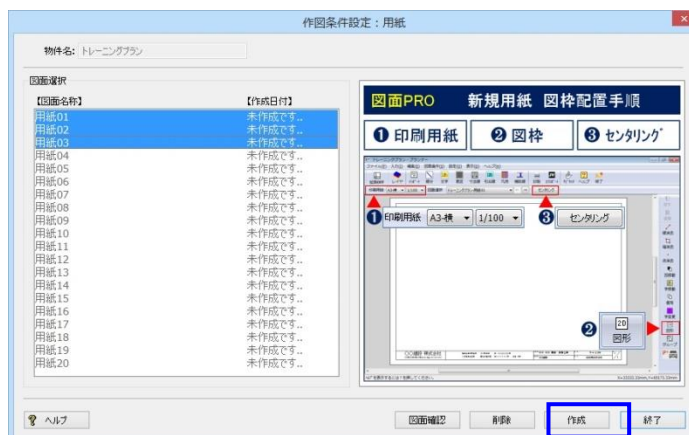
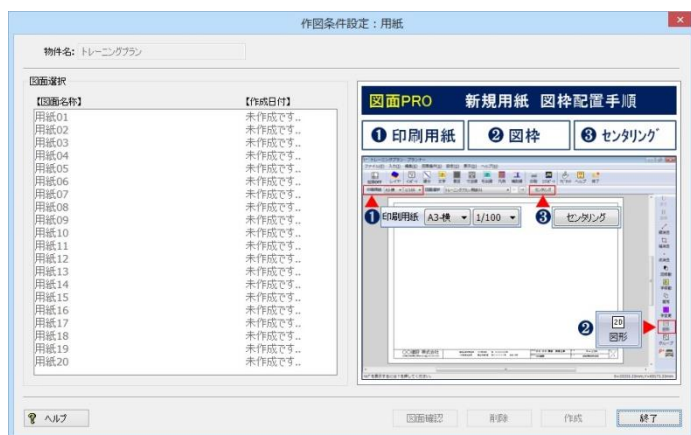
- 図面レイアウト 新規用紙を作成して図面や画像のレイアウトを行います。
平面図画面から上部メニューの設計図面「図面PRO」を押してDXF図面一覧を起動させます。



- 「意匠データ」から「図面レイアウト」「作成」を押します。



- 「作図条件設定」画面から新規用紙を作成する用紙一番号をマウスで選択し「作成」を押します。





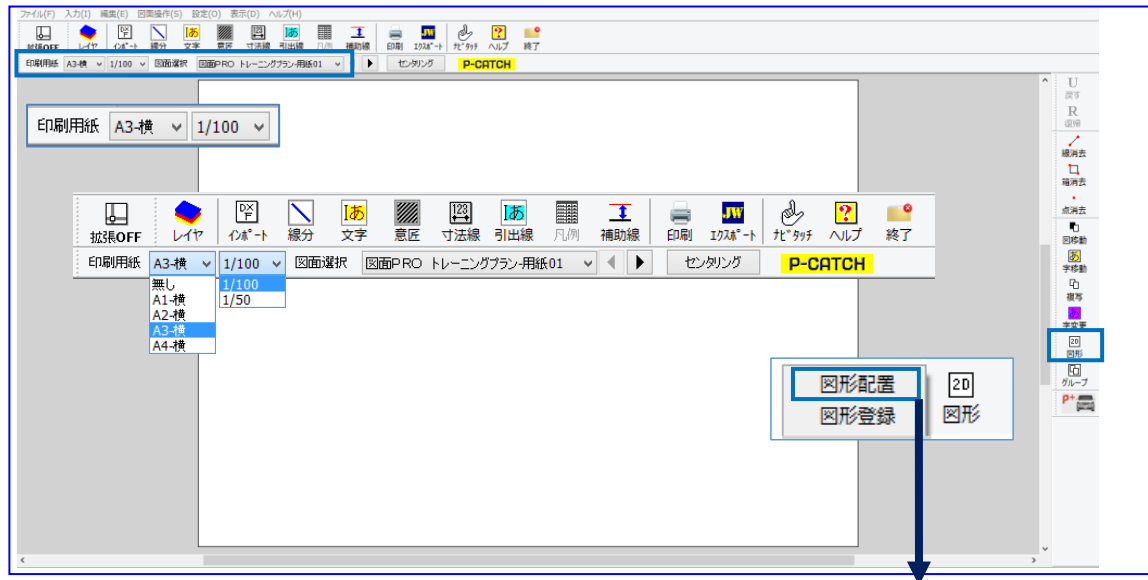
レイアウト機能

2D-図形・図枠配置

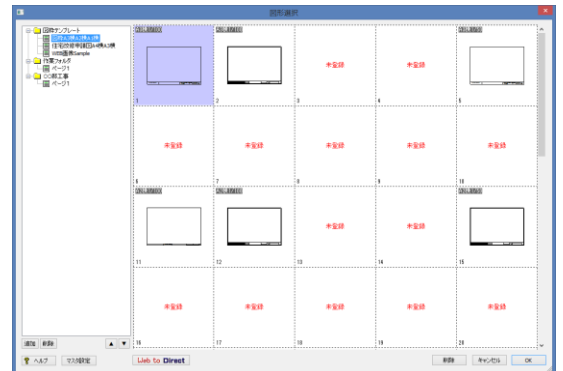


- 「新規用紙」の「編集画面」に入り、画面左上の印刷用紙の「用紙サイズ」を確認します。
- 新規用紙に図枠を配置します。(図枠印刷を行う場合) 右サイドメニューから「2D図形-図形配置」を選択します。
- 「図形選択-画面」から登録されている「A3横-図枠」を選択します。

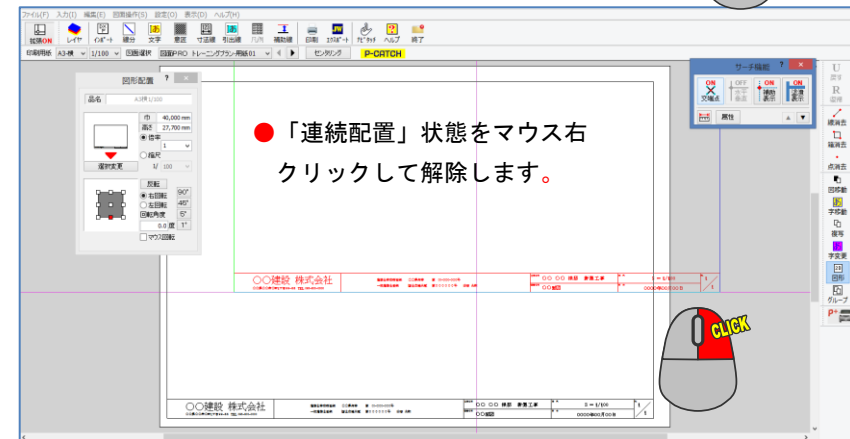
※図枠は自社仕様に修正して2D図形に登録を行う事で次回から業務活用できます。



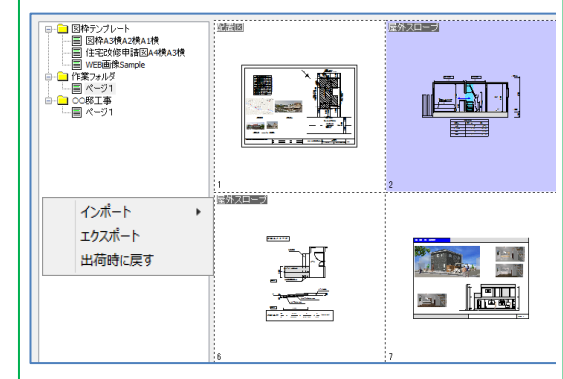
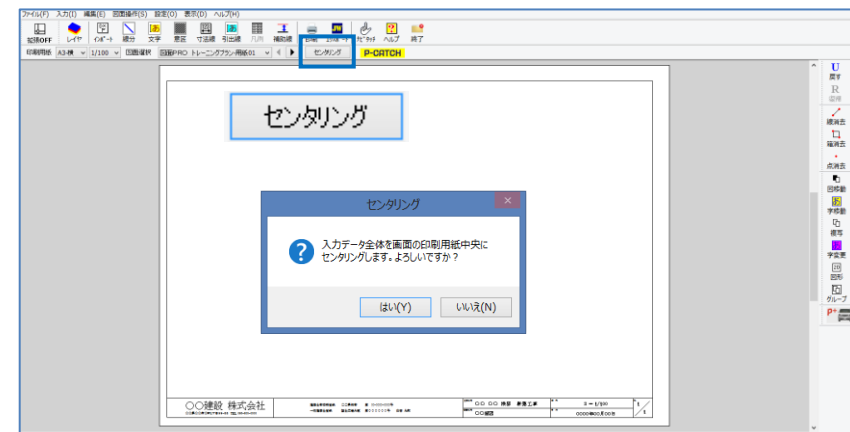
- 「図枠」を用紙の任意箇所配置します。マウス左
- 「連続配置」の状態になっていますので赤い図枠が見えます。



● 「2D図形」は、図面PRO機能の中でも汎用性の高い登録機能です。レイアウト済みの図枠やディテール。パース画像や仕様書など作成した自社仕様コンテンツを作業しながら随時登録して別物件に利活用できます。



- 「図枠」を「センタリング」します。ボタンを押してメッセージに従って「はい」を押すと「図枠」がセンタリングされます。

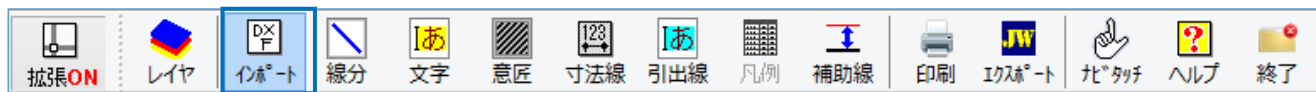




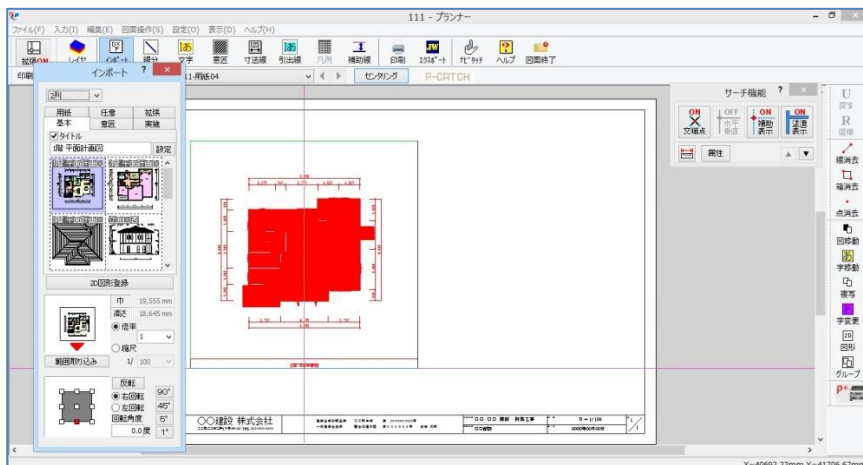
レイアウト機能 図面インポート



- 「D X F インポート」アイコンを押して図面インポートダイアログを開きます。



- 配置する図面を選択して用紙にレイアウトしていきます。

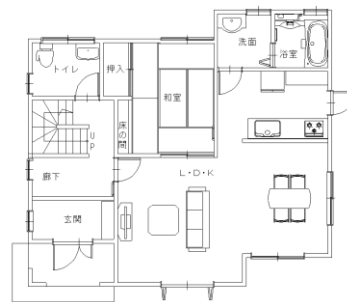


- 「塗潰し」の表示/非表示は、「拡大機能ON」のサーチ機能画面内の「塗潰表示ON/OFF」で切替えが可能です。

「図面」を編集する際の表示/非表示を切替えて修正作業が行えます。

※「印刷」の際にも表示/非表示を活用出来ます。

塗潰しがあるカラー印刷と非表示にしたモノクロ印刷を「塗潰表示ON/OFF」の切替で利用出来ます。

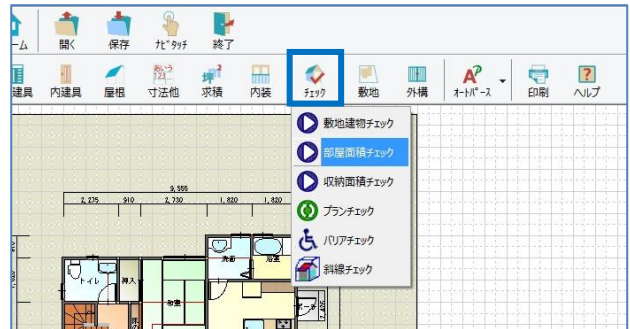
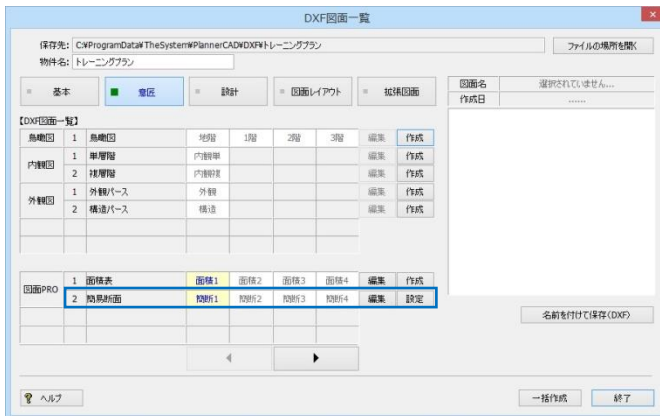




レイアウト機能 面積表の作成と配置



- 「面積表」の作成は、「D×F図面一覧-面積表」と平面図「チェック」の2カ所の作成出来る所があります。
- 作成出来る面積表は、「敷地建物面積表」「部屋面積表」「収納面積表」の3つです。
- 面積表の作図条件を設定してから「自動作成」を行います。



敷地建物



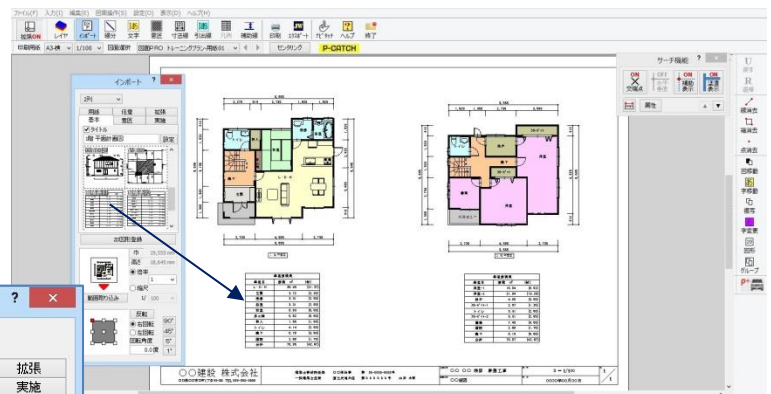
部屋面積



収納面積



- 「自動作図」後に「D×F面積表の保存」の空白欄を指定して「保存ボタン」を押して保存します。
- 図面への配置は、「インポート」から「面積表」を呼び出して配置していきます。





図面データのグループ化について

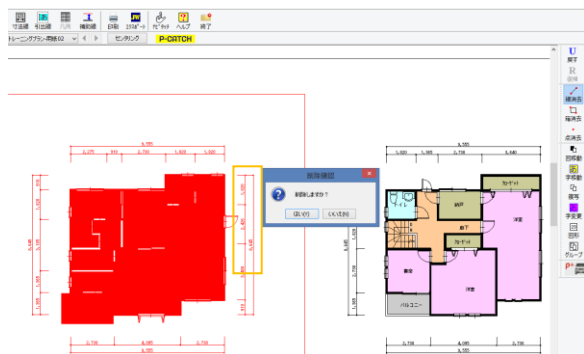


- 図面レイアウト用紙に「D X F インポート」で配置した図面と「2 D 図形」で配置した図形は、グループ化されています。
- 通常の自動作成された各 D X F 図面は、グループ化されていません。

図面レイアウト インポート図面

- 削除や移動を行う場合に図面データ全てが指定されます。

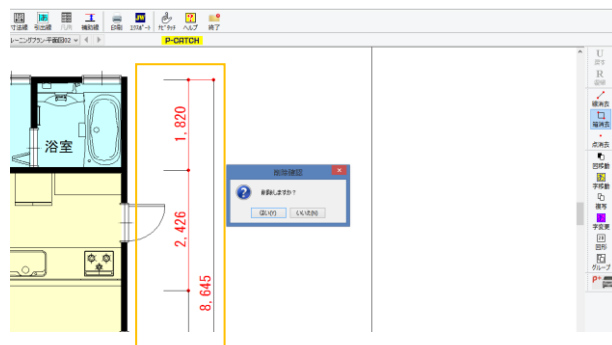
図面レイアウトを行い易い様にグループ化されています。
指定したデータのみの編集を行う場合は、「グループ解除」を行ってデータを分解してから編集を行います。
編集後は、再度「グループ化」を行います。



通常 自動作成 D X F 図面

- 指定したデータのみ編集できます。

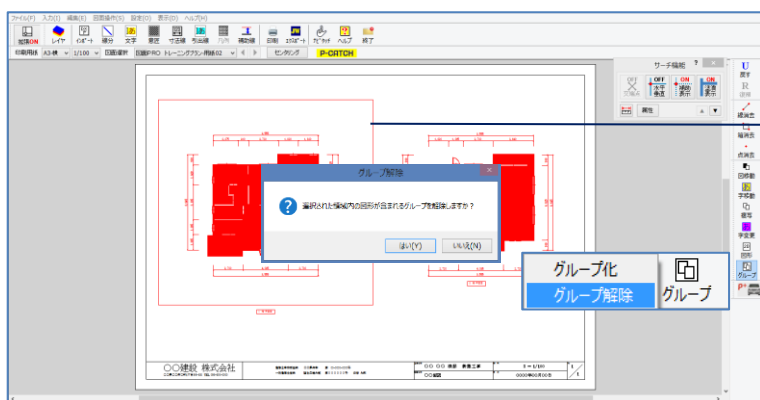
通常編集画面で図面の編集を行った図面は、図面レイアウトのインポートを行った時に編集した図面が配置出来ます。



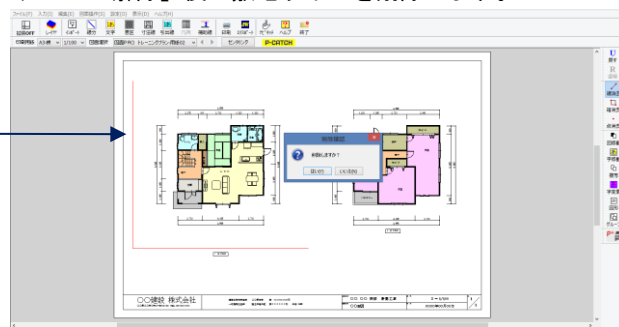
図面レイアウト インポート図面

グループ解除後の削除と移動

- 「インポート」した図面を「グループ解除」します。

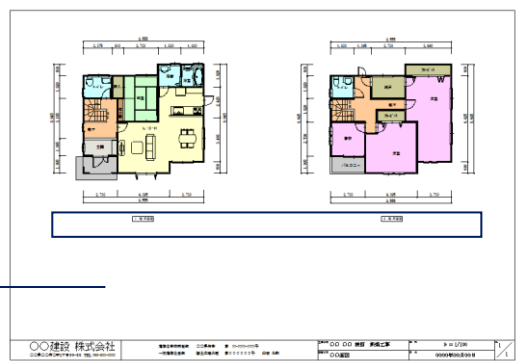


- 「グループ解除」後に敷地ラインを削除します。



- 1・2階平面図「タイトル」を2階に合わせ「移動」します。

- 1・2階平面図を「移動」して空いたスペースに部屋面積表を配置します。

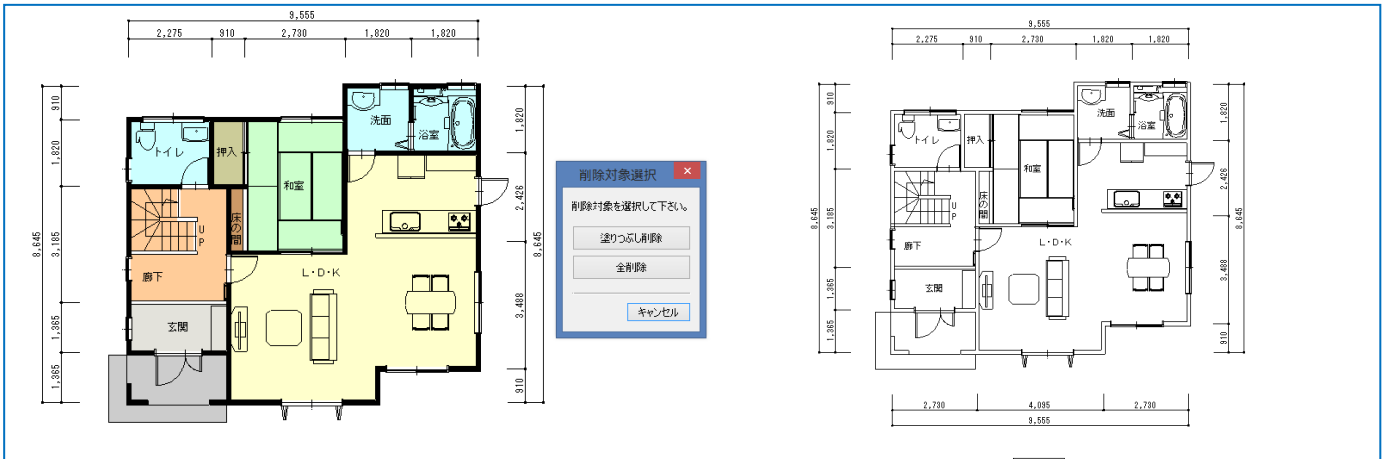




図面データのグループ化 塗潰しの削除



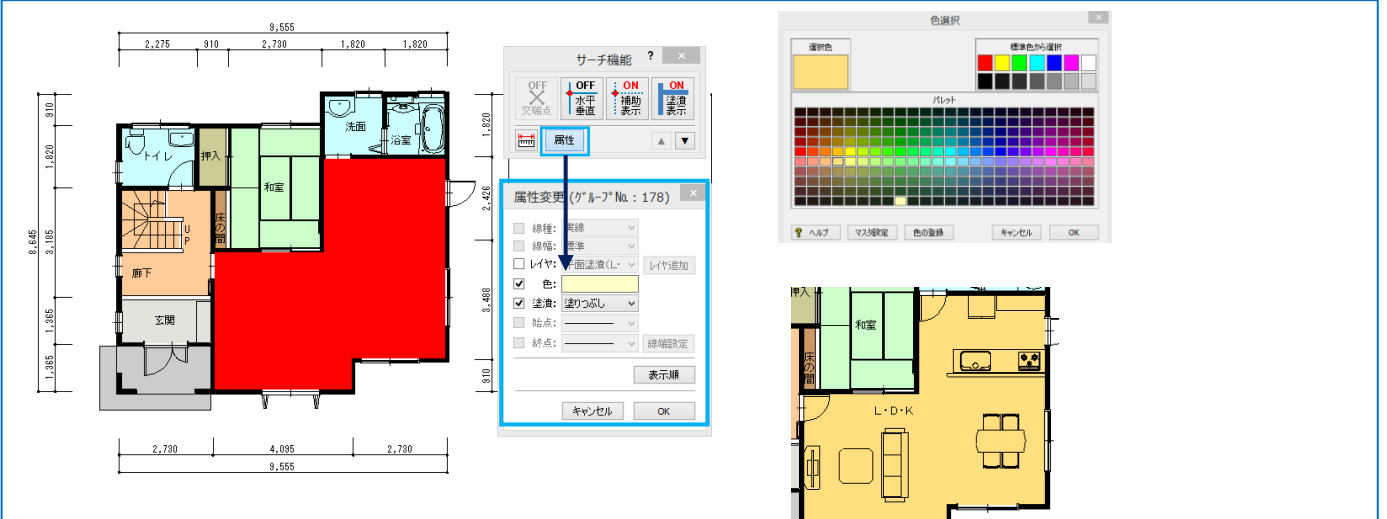
- 図面レイアウト用紙に「D×Fインポート」で配置したグループ化された図面に塗潰しがある場合に「削除」を行うと「塗潰し削除」か「全削除」を聞いてきます。「塗潰し削除」を選択した場合は、「塗潰し」のみが削除されます。



- 「グループ解除」を行った図面の「塗潰し」は、塗潰しエリアを指定して削除が行えます。



- 「グループ解除」を行った図面の「塗潰し」は、「拡張機能一属性」を押し、塗潰しエリアを選択して色の変更が出来ます。

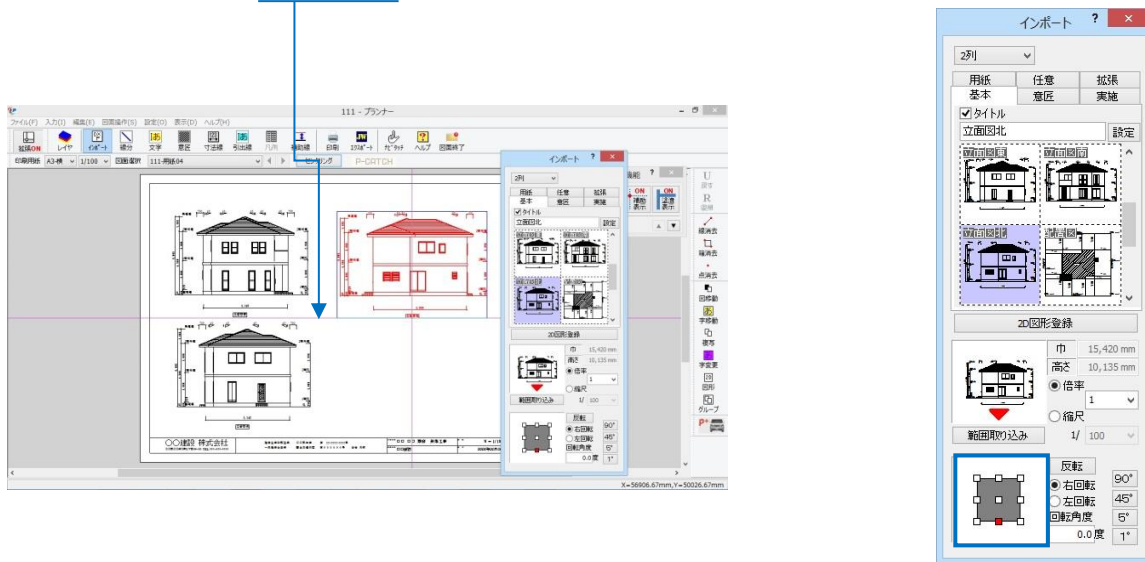




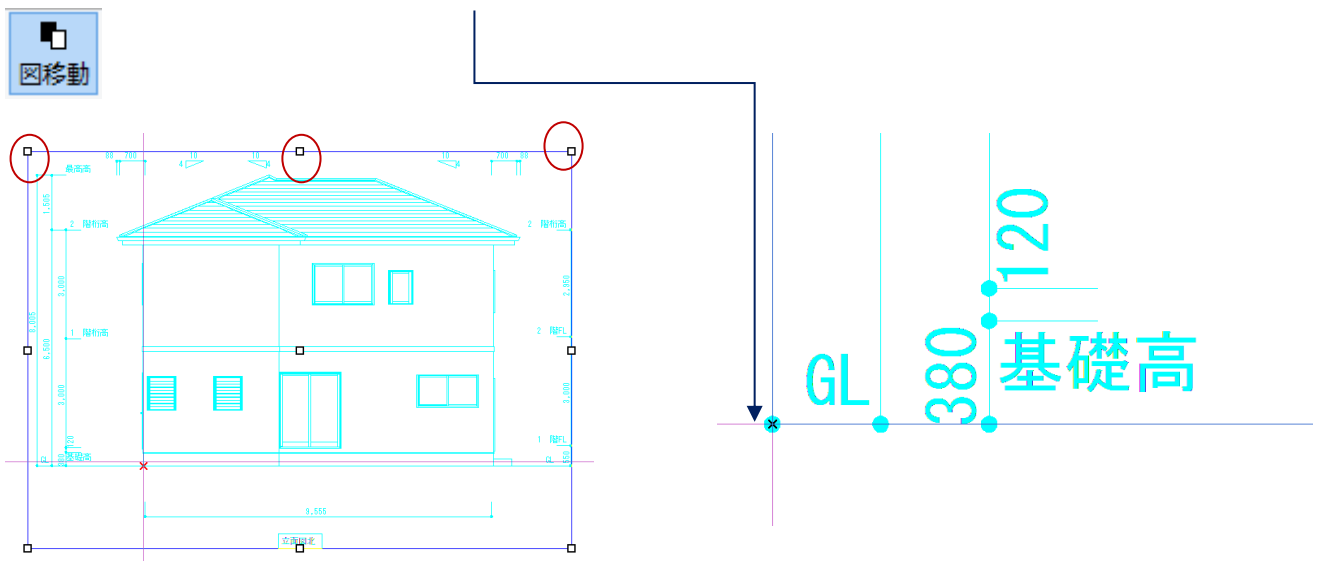
図面データのグループ化 図面の移動



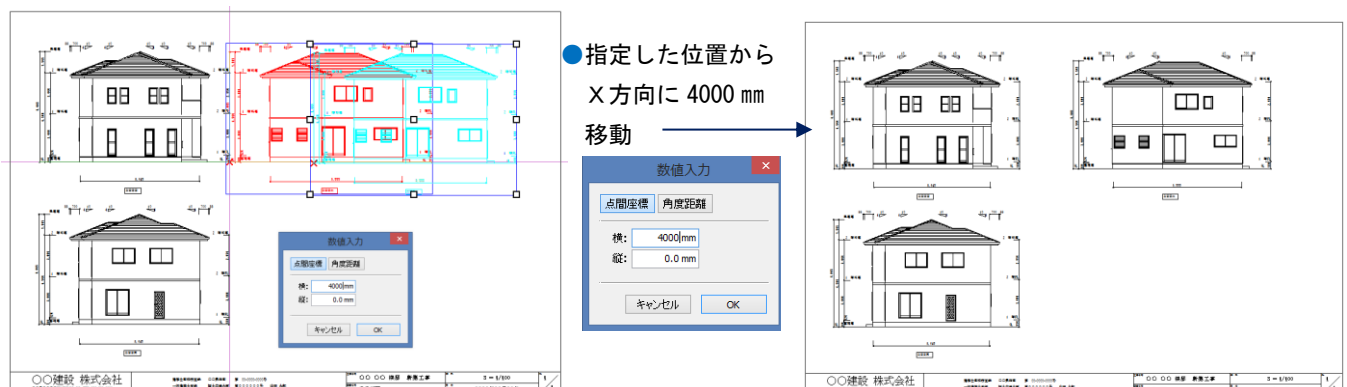
- 図面レイアウト用紙に「D X Fインポート」で立面図を配置する場合は、基準点を指定して「タイトル」を基準にして揃えたい図面に「十字カーソル」合わせて配置すると効率よくレイアウトが出来ます。



- 図面レイアウト用紙に「D X Fインポート」で配置された立面図を移動する場合は、移動を行う図面を指定した時に9点のエリア点が表示されます。次に移動図面の基準点をマウスで指定します。



- 次に移動先を指定します。● 移動先を指定した時に数値入力ダイアログが表示されます。
マウスで任意の場所に指定した場所は、「0」の状態で「OK」を押します。
- マウスで指定した場所から数値指定して移動する場合は、「数値」を入力して「OK」を押します。

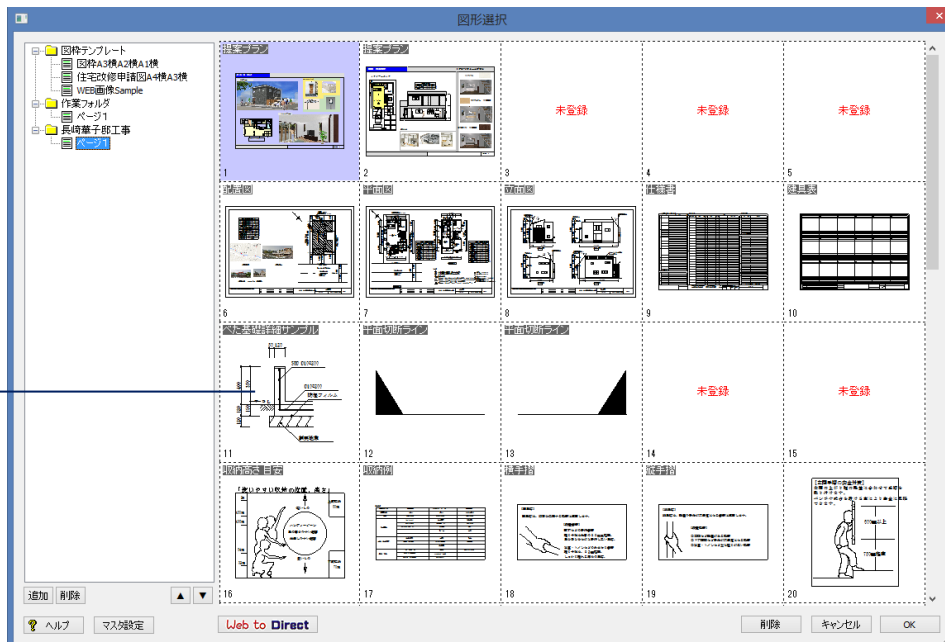




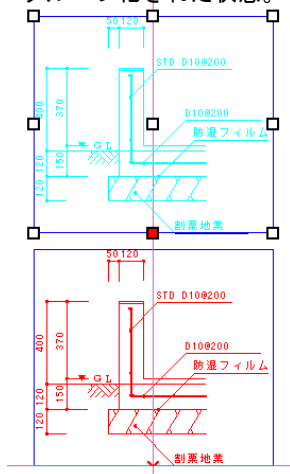
図面データのグループ化 2D図形



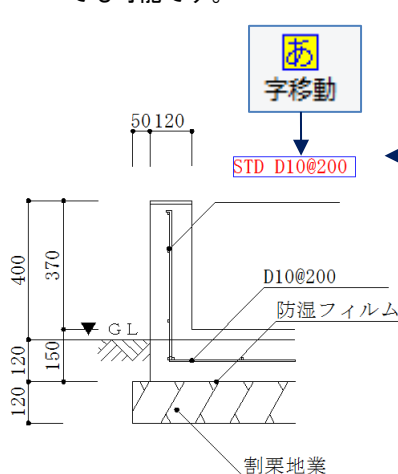
- 図面レイアウト用紙に「2D図形」で配置した図形は、グループ化されています。
- 「線分」を編集する場合は、グループ解除を行ってから修正を行いましょう。
- 「文字」を編集する場合は、グループ化の状態でも「移動」「文字編集」は、可能です。



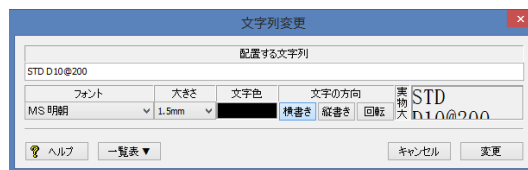
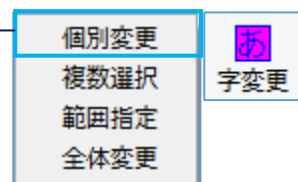
- 「図形」の移動や削除は、グループ化された状態。



- 「文字」の移動は、グループ化状態でも可能です。



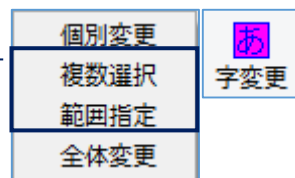
- 「文字」の編集は、グループ化状態でも可能です。



- 「表系の文字」の編集は、グループ化状態でも可能です。

収納例	上部収納	ハンディゾーン	下部収納
使用頻度	低い	高い	たまに使う
容量			重いもの 掃除機 イロン 工具 金庫
生活用品			土鍋 保存食 フットリネン
食品・調理			
衣類・小物	アウトドア衣類 オフシーズン用品	ハンカチ・下着 アクセサリ	

- 「個別変更」は、文字テキスト、フォント、大きさ、色変更、横/縦書、文字登録が行えます。
- 「複数選択」「範囲選択」「全体変更」は、文字フォント、大きさ、色変更が行えます。





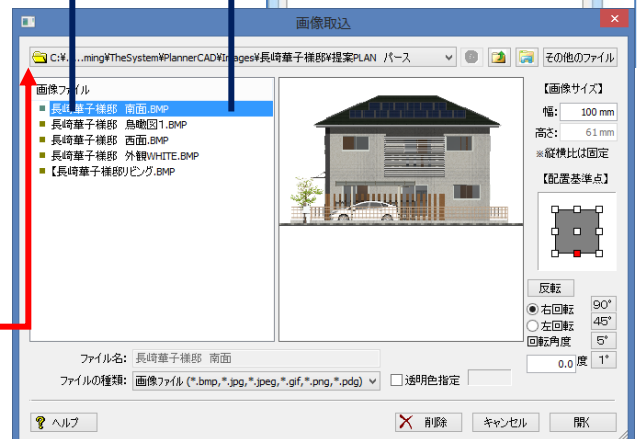
レイアウト機能 画像の配置



- 図面レイアウト用紙に「パース画像」と「簡易断面図」で作成した立面図を配置します。
- 画像は、拡張機能－「編集タブ」にある「画像－取込」にて画像の保存先フォルダを選択して配置します。

インポート - 意匠 - 簡易断面図

拡張機能 編集 - 画像 - 取込



●画像フォルダの管理について

- プランナーのパース作成後の保存先は、下図の階層の「Images」に全てのパース画像が保存されます。
- ※物件名フォルダを作成して管理し易い方法で運用される事をお勧めします。

デスクトップ

OneDrive

ホームグループ

①ユーザー名

AppData

Local

LocalLow

Roaming

TheSystem

Daikutema

KaitaiMitumori

Kokyakukanri

KouteiKanri

MansionReform

PlannerCAD

AM

Back

CGDXF

CONTINUE

DLIMAGE

Dxf

DXFZUKEIMASTER

Images

その他

リフォーム店舗

長崎華子様邸

福岡太郎様邸

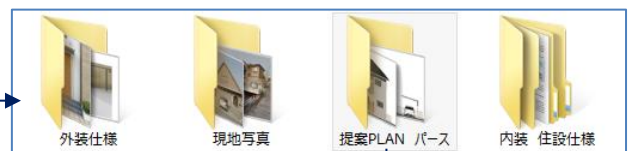
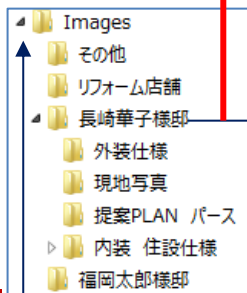
②格納フォルダ名

③ソフト別フォルダ

④プランナーデータ

★DXF図面データ(物件名毎)

★パース画像(全てのパース画像)



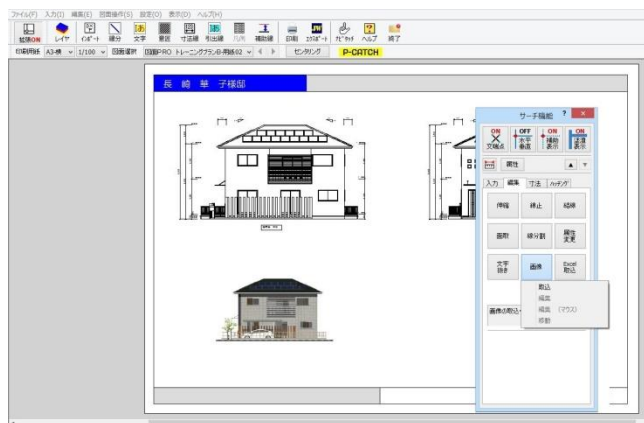


レイアウト機能 画像編集/画像データの考え方



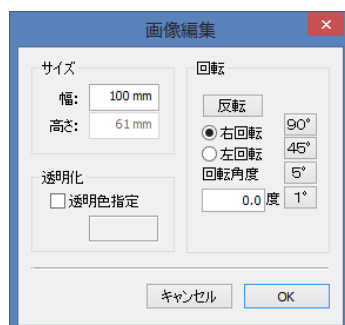
● 図面レイアウト用紙に「画像配置後」の「修正」は、「拡張機能－編集－画像」と「属性」で行います。

画像の移動・サイズ変更・回転・反転など機能コマンド毎に出来る機能が異なります。



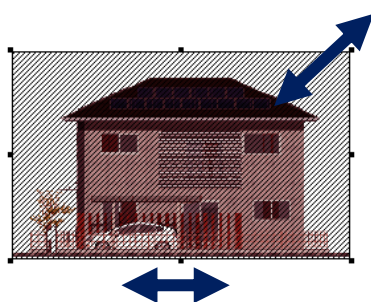
● 編集＝数値変更

サイズ・反転・回転・角度



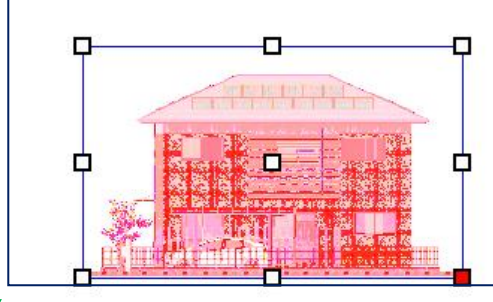
● 編集（マウス）＝マウス操作

画像のサイズ変更・移動



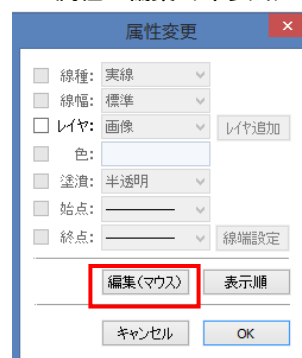
● 移動＝基準点（9点）を

マウス指定して移動



属性

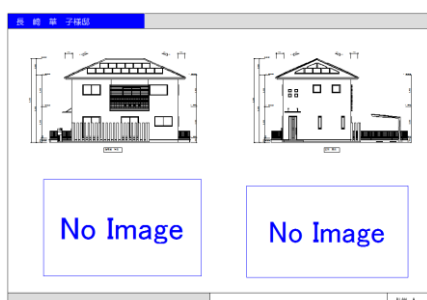
● 属性＝編集（マウス）



● 図面レイアウト用紙に配置した「画像データ」は、その画像の保存先の情報を保持しています。そのため、元の画像の保存先やファイル名を変更した場合は画像ではなく「No Image」の文字が表示されます。

図面PROのライセンスが無いプランナーで「画像データ」配置済のD×Fデータを開いた場合も同様に「No Image」となります。

※JW-CAD など他のCADも画像が配置されたD×Fデータは開くことが出来ません。





レイアウト機能

Web 2D配置（画像）



- 図面レイアウト用紙に「Web2Dー添景画像」の配置を行います。インターネット接続されている場合にご利用頂けます。
- 右サイドメニューの「Web2D」から「画像」ボタンを押すと「専用WEB」が表示されます。
- カテゴリーに分けられた「2D 添景画像」をマウスで押すだけで「図面レイアウト」にダイレクトに画像の配置が出来ます。

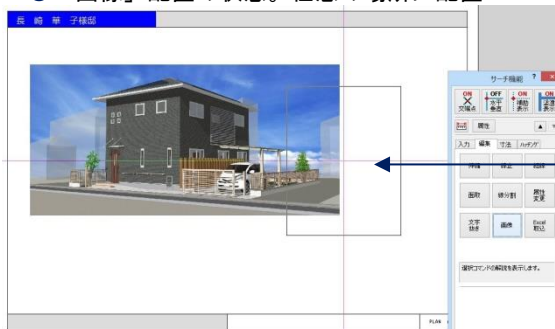
- 「画像」ボタンを押す。



- 「専用WEB」から添景画像を選択。

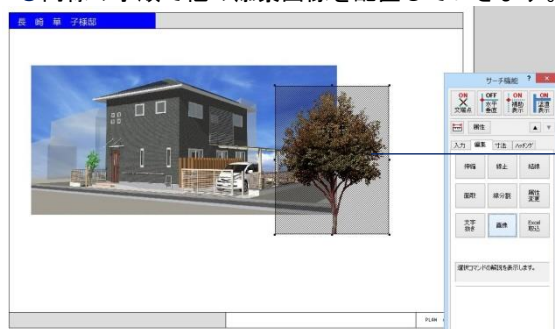


- 「画像」配置の状態。任意の場所に配置

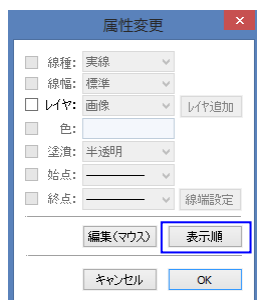
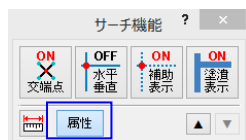
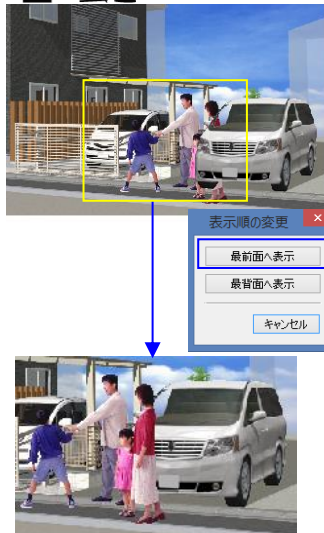


- 「画像」配置後は、編集状態になりサイズをマウスで調整して配置したい場所に移動。

- 同様の手順で他の添景画像を配置していきます。



- 重なった「画像」は、「属性」ボタンを押して「画像」を指定後に「属性変更ー表示順」ボタンを押します。
- 「前面」「背面」を選択して画像の重なりを調整していきます。



- 2D 添景画像を 4 カ所配置した状態。





レイアウト機能

Web 2D配置 (図形)

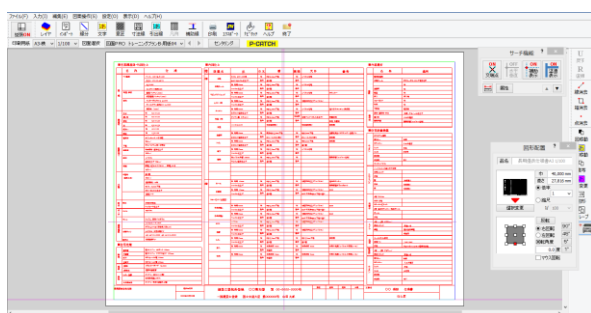


- 図面レイアウト用紙に「Web2D-図形」の配置を行います。インターネット接続されている場合にご利用頂けます。
- 右サイドメニューの「Web2D」から「図形」ボタンを押すと「専用WEB」が表示されます。
- カテゴリーに分けられた「2D 図形」をマウスで押すだけで「図面レイアウト」にダイレクトに図形の配置が出来ます。

- 「図形」ボタンを押す。



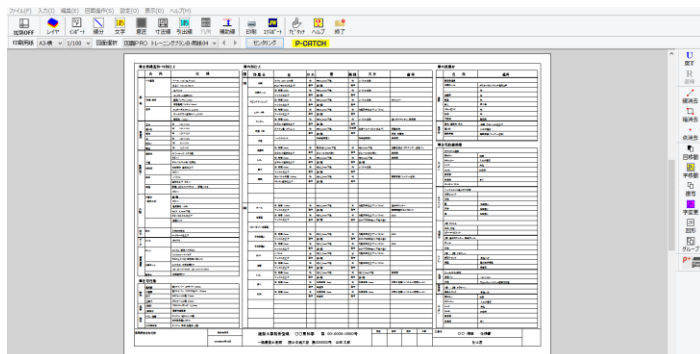
- 「白紙用紙」に配置して「センタリング」を押して用紙内に配置します。



- 「専用WEB」から図形-仕様書を選択。

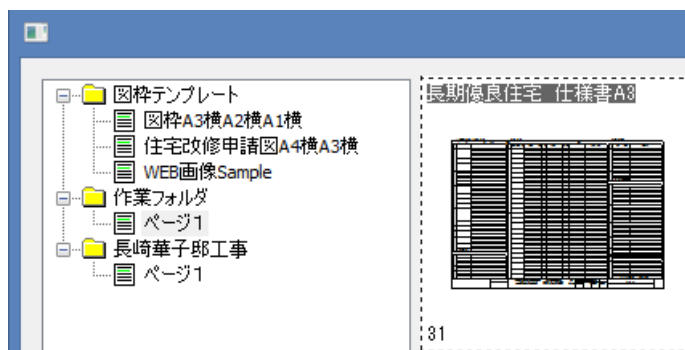


- 「仕様書」内の文字を自社使用に「字変更」機能を使って修正していきます。



■主要構造部・外部仕上		■内部仕上	
名 称	仕 様	階	部 屋
基礎	ベタ基礎	1階	玄関
	ベース 150 (GL+130)		
	立上り W=150, H370		
	GL+500		
基礎	防湿・換気	1階	玄関ホ
	金物		
	ホールダウン金物M16 L=600		
土台	銅製束 (Joto)	LDK	LDK
	桧 135 × 135		

- 修正した「自社仕様の仕様書」は、2D図形登録を行う事で別物件に利活用が出来ます。
- 「Web 2D 図形」は、図面レイアウト配置後や2D図形登録後は、インターネット接続されていない場合でも「データ表示や編集作業」が行えるデータです。





簡易断面図 出力データの考え方



- 「簡易断面図」は、3Dプレビューで見えている3DデータをDXF変換している図面データです。
- 平面の断面位置に合わせた一般的な断面図ではありません。

● 3Dプレビュー「簡易断面（全体）簡易断面（選択範囲）」から3Dプレビューを表示。

●「表示レイヤ設定」のチェックが入っているデータが3Dプレビューに表示されます。

● 3Dプレビュー画面上でマウス右ボタンを押してダイログ画面を表示。

- 3DプレビューのDXF図面の変換は、「D-WARP」ボタンから「作図」と「設定」で行えます。

- 「自動作図」を開始後は、簡易図面の保存画面が表示されて12図面まで保存が可能です。
- 編集画面を起動して編集作業にも入れます。

● DXF図面の作図出力の条件は、「設定」ダイアログから「出力設定」を行って「自動作成」を開始します。



簡易断面図の図面編集画面

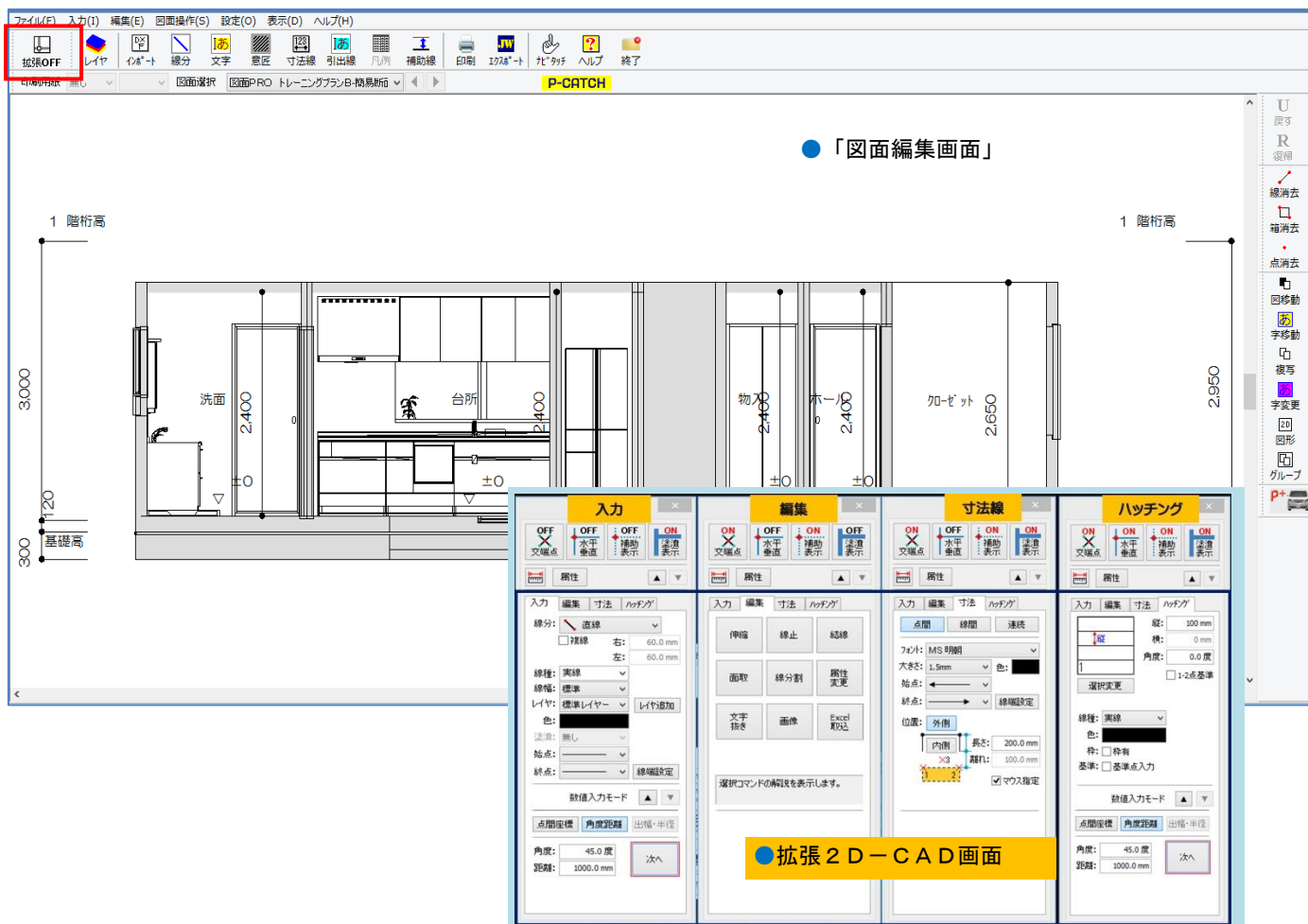


- 「自動作図」した「簡易断面図データ」の編集は、「D X F 図面一覧－簡易断面図」から編集画面に入る方法と「自動作図」後の「保存画面－編集」から入る事が出来ます。
- 図面PROの拡張2D-CADを利用して図面を仕上げていきます。各汎用機能の説明は、個別マニュアルを参照下さい。

● 「D X F 図面一覧－簡易断面図」

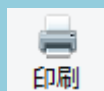


● 「自動作図」後の「保存画面－編集」





図面レイアウト 編集画面・印刷



図面レイアウト用紙は、最大 10 枚までの印刷が可能です。印刷機能では、印刷を行う対象図面を選択して印刷を行います。

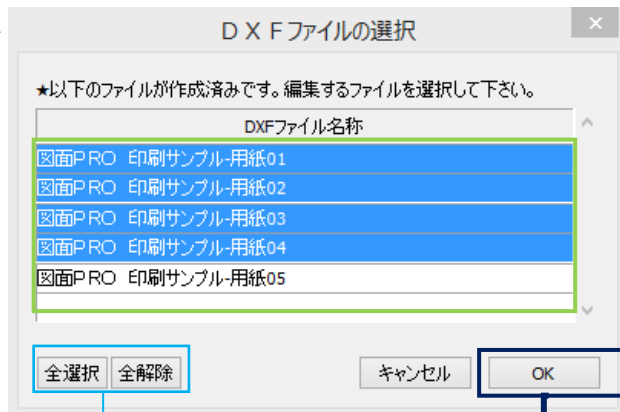
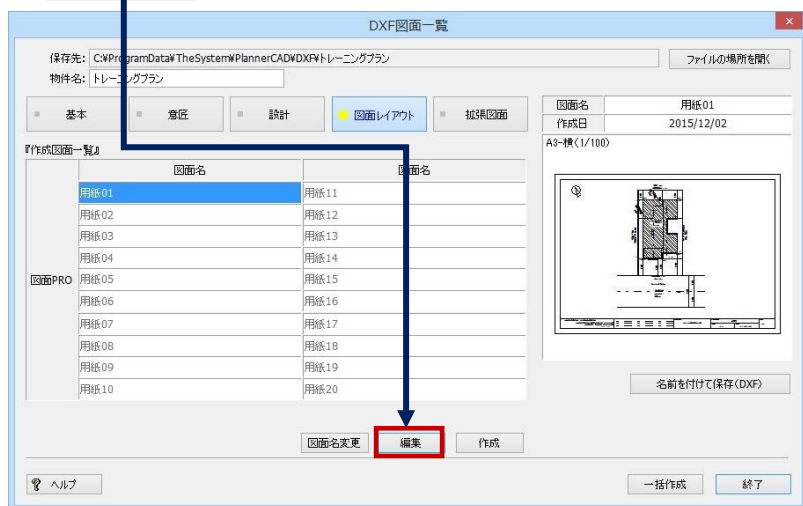
図面一覧

■ 図面一覧画面から印刷図面を呼び出します。

■ 「編集」アイコンを押すと DXF ファイルの図面選択ダイアログが表示されます。

■ ファイル一覧から「編集/印刷」を行うファイル名をマウスで選択します。(選択状態：青表示)

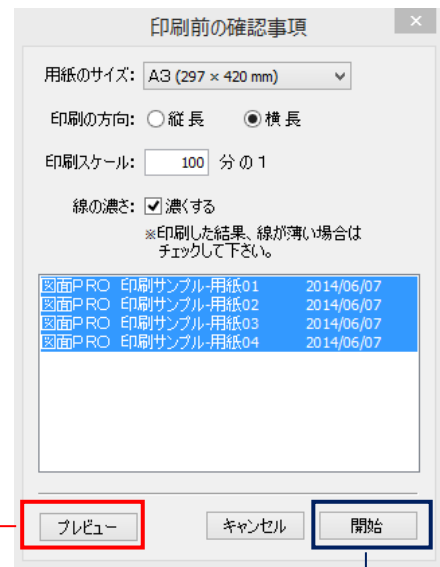
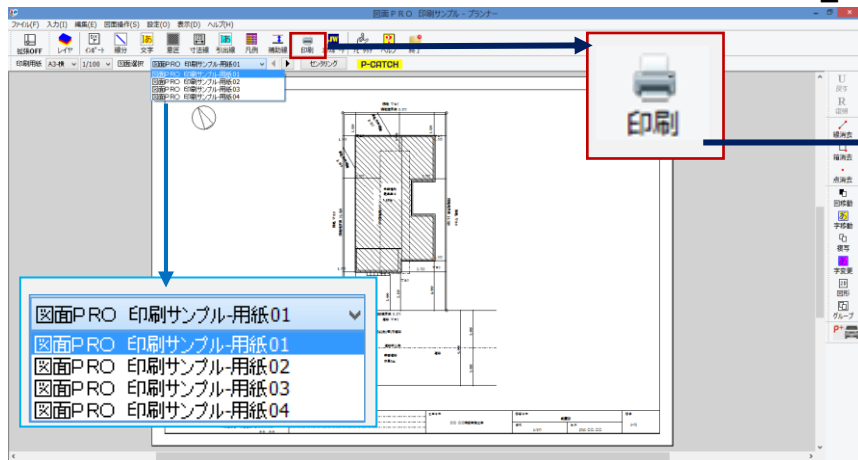
編集



※全図面の「選択/解除」が行えます。

■ 選択した図面 4 枚が編集画面に表示されます。

■ 「印刷」アイコンを押して印刷図面を選択します。



■ 「プレビュー」アイコンで印刷図面の確認が出来ます。

※用紙サイズと図面レイアウトの確認は、プレビューを必ず表示させましょう。



■ ご使用のプリンター（ドライバー）を選択して印刷して下さい。

